

じんけん ひろば 人権の広場

3月1日～8日

「女性の健康週間」

問合先 人権推進課

女性は妊娠や出産をする可能性があるなど、生涯を通じて、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。

日本の女性の検診率は低い状況にあり、女性特有の病気が若い世代に増えてつつあることも心配されています。

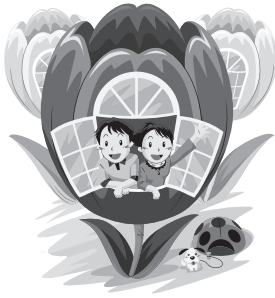
ぜひ、この週間に機に検診を受けるなど、ご自分の身体を大切にすることを考えてみてください。



また、本市では「第2次いずみさの男女共同参画行動計画（人ひとプラン）」の中で、「男女の生涯を通じた健康・保持支援」を基本目標の一つとしています。

男女が互いの身体的性差について、理解を深め、お互いを尊重し思いやりをもって生きていくことは、誰もがいきいきとした社会づくりにはとても大切なことです。

また、本市では「第2次いずみさの男女共同参画行動計画（人ひとプラン）」の中で、「男女の生涯を通じた健康・保持支援」を基本目標の一つとしています。



「3月8日「国際女性デー」

国連は1975年（国際女性年）に3月8日を国際女性の日としました。

女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加

に向けた環境整備に貢献することが日本を含め各国に期待されています。

世界経済フォーラムは2021年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表し、日本は156カ国中120位でした。

※2020年は153カ国中121位

特に政治、経済分野において格差が大きい日本の状況が反映していると考えられます。国際的視野においても、日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言えない状況です。

日本は日本の文化、社会の状況などにも配慮しつつ、国際的な概念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣習や意識を見直し、男女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。



やかんちゅうがっこう べんきょう せいとぼしゅう 夜間中学校で勉強しませんか（生徒募集）

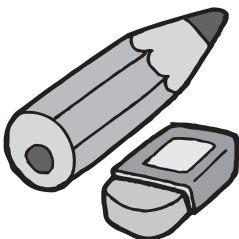
いろいろな事情で小学校や中学校を卒業できなかった人、実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した15歳以上の人、いっしょに勉強しませんか。

- 入学の受付は4月28日(木)までです。(土・日曜日、祝日除く)
- ひらがなから勉強できます。
- 大阪府内に住んでいる人が入学できます。
- 外国籍の人も入学できます。
- 授業料は無料です。



といあわせさき 問合先

- 堺市立殿馬場中学校 (☎072-221-0755) 堺市堺区櫛屋町東3丁目2-1
- 岸和田市立岸城中学校 (☎438-6553) 岸和田市野田町2丁目19-19
- 泉佐野市教育委員会 学校教育課 (☎463-1212) 泉佐野市市場東1丁目1-1



小・中学校の児童・生徒から多くの人権作品が寄せられ、昨年末に入賞者が決定し、各校に賞状が送られました。そのなかの最優秀賞受賞作品の一部を紹介します。(順不同・敬称略)

問合先 学校教育課

【読書感想文】「見えないものを見る力」

新池中学校3年生 杉山愛依

見えているものが全てなのだろうか。「わたしは、いなくなると、なれないんだ。わたしがいなくなったら、うちが、こわれちゃうから。」私は圧倒された。幸せな家庭の中にもどこかでつらい思いをしている子供がいるなんて。そんな見えない問題にも私達は目を向け、向き合っていかなければならない。

ある時、テレビのニュース番組で「ヤングケアラー」についての特集がされていた。見慣れない言葉に少し疑問を感じ、いつもならすぐにチャンネルを変えてしまう私だがこの時ばかりは見入ってしまった。すると思いもよらない実態が私の目をよぎった。それは日本の中学生の約十七人に一人は本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行う「ヤングケアラー」であるということであった。十七人に一人という私のクラスの中に少なくとも二人はいるという計算になる。普段あまり意識していないからなのか私の目からは変わったことを感じられなくらいみんないつも通りに楽しく過ごしている。しかしそれが仮の姿で本当は私の知らないところで苦労している人があるのかもしれない。それを考えると少し胸が痛くなった。もし私がこの本の中に出てくる一人の朱音の立場にたったとして身近な人に相談できただろうか。おそらく周りの目や反応を気にして、結局は朱音のように誰にも言えず一人で抱え込んでしまっていたと思う。ではそんな子をどうしたら救ってあげられるのか。その問いを探るように私は今年の課題図書の中にあつた「with you」をすぐさま手に取り、読み進めていくことにした。

朱音は私と同じ中学生でありながら毎日家のこと、家事のことを中心に考えており、私の一日の過ごし方とは大きく異なっていた。心の中には沢山の思いを持っているのにも関わらずそれを表には出さずに、日々苦労しながらも自立して生活する大人びた朱音の姿には少し悲しくなった。本当なら友達との他愛ない話で笑い合ったり、好きなことに夢中になったりやりたいことは山ほどあると思う。しかし大切なお母さんのため、家族のために身を削り、時間を割き、ただ

お母さんに元気になってほしいという純粋な朱音の気持ちには涙が出た。ヤングケアラーの子達には自由な時間があまりない。なかでもそもそも学校に行けず、つきっきりで看病していたり、学校に行っても常に考えているのは家のことで、友達や授業の話も落ち着いて聞いてもらえない。もしこのような現状を少しでも和らげられるとしたら私は当事者と同年代の子供たちが「ヤングケアラー」についてもっと詳しく知る必要があると思う。けれどなかなか身近な話でないと知る機会がないと思う。また私もニュースやこの本を通して初めてこのような社会問題があることを知った。しかしそんな時、母がふとこんな話をしてくれた。「ママが見ていた頃のドラえもんに登場するジャイアンの家は八百屋をしていて、学校から帰ってきて家の手伝いやジャイ子という妹のお世話もしていたんだよ。だから本当はジャイアンもヤングケアラーの一人で、スネ夫やのび太に度々ちょっかいをかけていたりするのは実際には少し羨ましかったんじゃないのかなあ。」と母は話してくれた。私はそれを聞いて意外にも漫画の登場人物という身近なものにも「ヤングケアラー」が関係していたことを知りとてもびっくりした。

また私のような身近な驚きや発見から興味を持って知るということはとても大切なのではないかと思った。それに小さい子供でも知る機会は近くにあるのだということを知った。そうして沢山の人の知ってもらい、相手を思いやったり、互いに尊重し合うことで、どちらにとっても過ごしやすい世の中になるのではないかと私は思う。

私達は色々な人に支えられて生きている。これは当たり前ではない。だからこそ日々の生活を大切に、関わる人、一人ひとりに感謝しなければならないなと思った。またこれから先、大人に近づいていく中で沢山の人の人に出逢うと思う。そんな時相手の見えない心の変化を感じ取るアンテナがあれば誰かの心の支えになれるのかもしれない。自分も大切な人も、みんなが自分らしく、穏やかに暮らせるように。

小・中学生人権作品

「人権について考えよう」

【標語】

ありがとう 言って言われて 笑顔の種

日根野小学校5年生 橋本琉之介

SOS 気付けるあなたが レスキュー隊

佐野中学校1年生 長瀧有太

【詩】

「ブラジル人のおともだち」

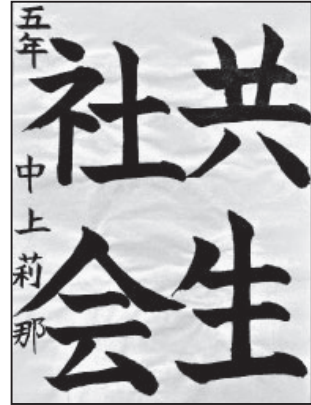
北中小学校1年生 瀧本莉子

しょうがつこうににゆうがくして、
はじめてできた、ブラジル人のおともだち。
はだのいろや、めのいろが
すこしちがうけど、
おなじいちねんせい。
にほんごがあまりはなせないけれど、
おなじいちねんせい。
ブラジルのことばを
おしえてもらったよ。
ボンヂーア。
アテローゴ。

【書道】

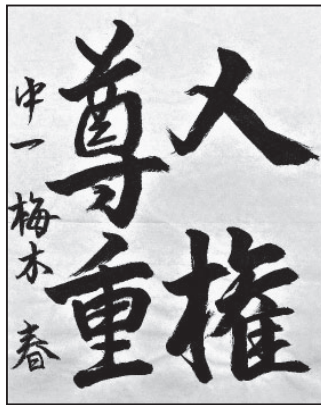
◀日根野小学校5年生

中上莉那



◀第三中学校1年生

梅木春



【ポスター】

◀日根野小学校5年生

中 勇咲



◀第三中学校1年生

松坂涼香

